

土曜授業・施設見学会を実施しました

12月9日(土)に施設見学会を実施し、中学生35名、保護者27名が参加して下さいました。参加して頂いた保護者の皆様には、大変満足していただけたようです。

参加者の声

【中学生】

- ・羽咋工業ではたくさんの機械を使う授業があり、将来役に立つことがたくさんあることが分かりました。
- ・施設などがしっかりと整っていて、すごく学びやすい高校だと強く心に残りました。
- ・いろいろな科の場所をみてまわっていたので、他の科との比較がしやすくよかったです。
- ・就職状況がすごく良いということが分かりました。大学へも行けることが分かり良かった。

【保護者】

- ・設備が整っており、資格試験に対しても先生方が熱心に指導してくれそうなので、安心できると思いました。
- ・学校、生徒に関して良い環境で学習していると思います。親の目から見て安心できる様にしたのが一番良かった。
- ・各科の実習室が見れて良かったです。土曜補習や実習内容が聞けて良かったです。
- ・男子が多いイメージだったので、子供もイメージが変わったように思う。
- ・実際の授業中の様子を見学できて「音」や「匂い」「湿度」等、体感出来て良かったです。



伝統行事の校内カルタ大会

1月9日(火)に校内カルタ大会が行われ、その様子が中日新聞・北國新聞に掲載されました。

2018年(平成30年)1月10日(水曜日) 【能登】 16
北 陸 中 日 新 聞

読み札に集中 生徒白熱

羽咋工クラス対抗かるた大会

羽咋市の羽咋工業高校で九日、校内かるた大会があった。昨年、五年ぶりに復活し、通算四十七回目を迎えた伝統行事。全校生徒三百六十人が学年ごとにクラス対抗で競い、盛り上がった。生徒たちは百人一首を冬休み中に覚えて大会に臨んだ。各クラスから四人一組で四チームが参加し、予選リーグと予選上位による決勝トーナメントを行った。

とほほ同時に札を取る生徒もいて、白熱した。札を取るたびに、仲間とともにかツポツポツと喜ぶのを分かち合っていた。田上竜太さん(三年)は「去年は一回戦で負けたので優勝するつもりで臨んだ。いぬまのつもりでワンチャンスを生かされればと思った」としゃべりながら、塩田篤司校長は「運動会の行事で盛り上がるのは多々あるが、文化的な伝統行事を楽しむことも悪くない。新嘗年々に生徒たちの笑顔がふれる光景はず



勝利を決めて喜びを分かち合う生徒たち=羽咋工業高で

「きだなと思う」と話した。(小塚泉)

激戦！校内バスケットボール大会

12月20日(水)に行われた校内バスケットボール大会では、クラスが一丸となって試合に臨みました。3年生優勝チーム対教員チームも行われ、おおいに盛り上がりました。



2018年(平成30年)1月10日(水曜日) 社会1 (31)

北 國 新 聞

北窓

校内かるた(百人一首)大会は9日、同校体育館で行われ、全校生徒約360人が47回目の伝統行事を楽しんだ。写真。

◇…大会は昨年、日本文化に親しむ狙いで5年ぶりに復活し、生徒は札を取るたびに、ガツポツポツするなどして喜んだ。

◇…冬休みの課題には、百人一首の暗記が出されたものの、生徒は「母校の伝統を守るためなら喜んで」と、愛校心たっぷりだ。



◇…羽咋工高の校内かるた(百人一首)大会は9日、同校体育館で行われ、全校生徒約360人が47回目の伝統行事を楽しんだ。写真。